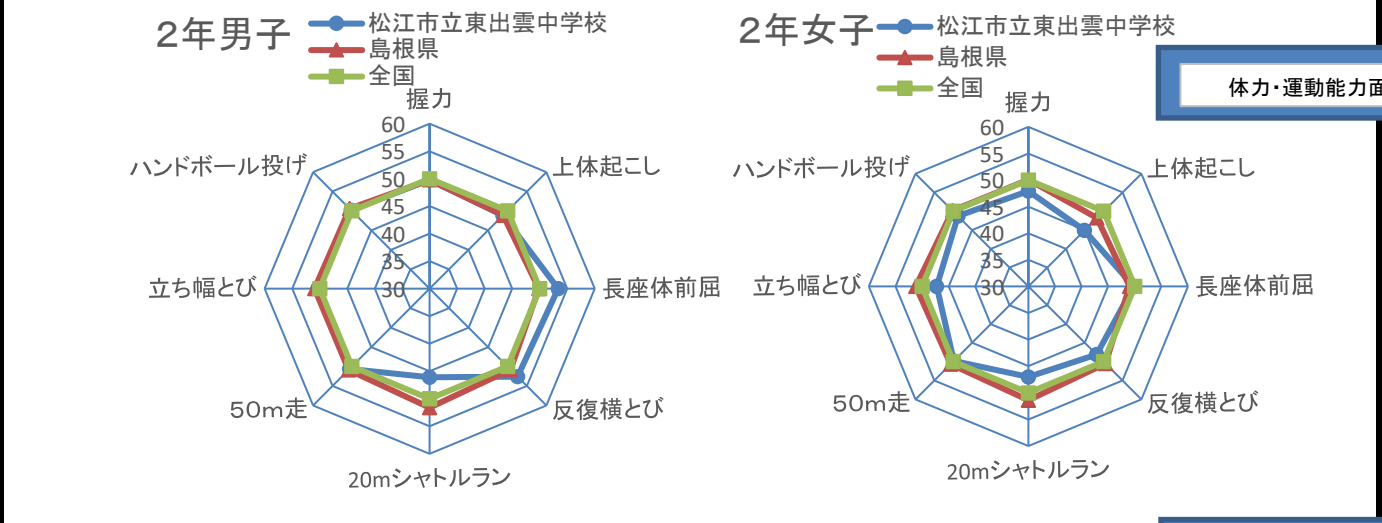
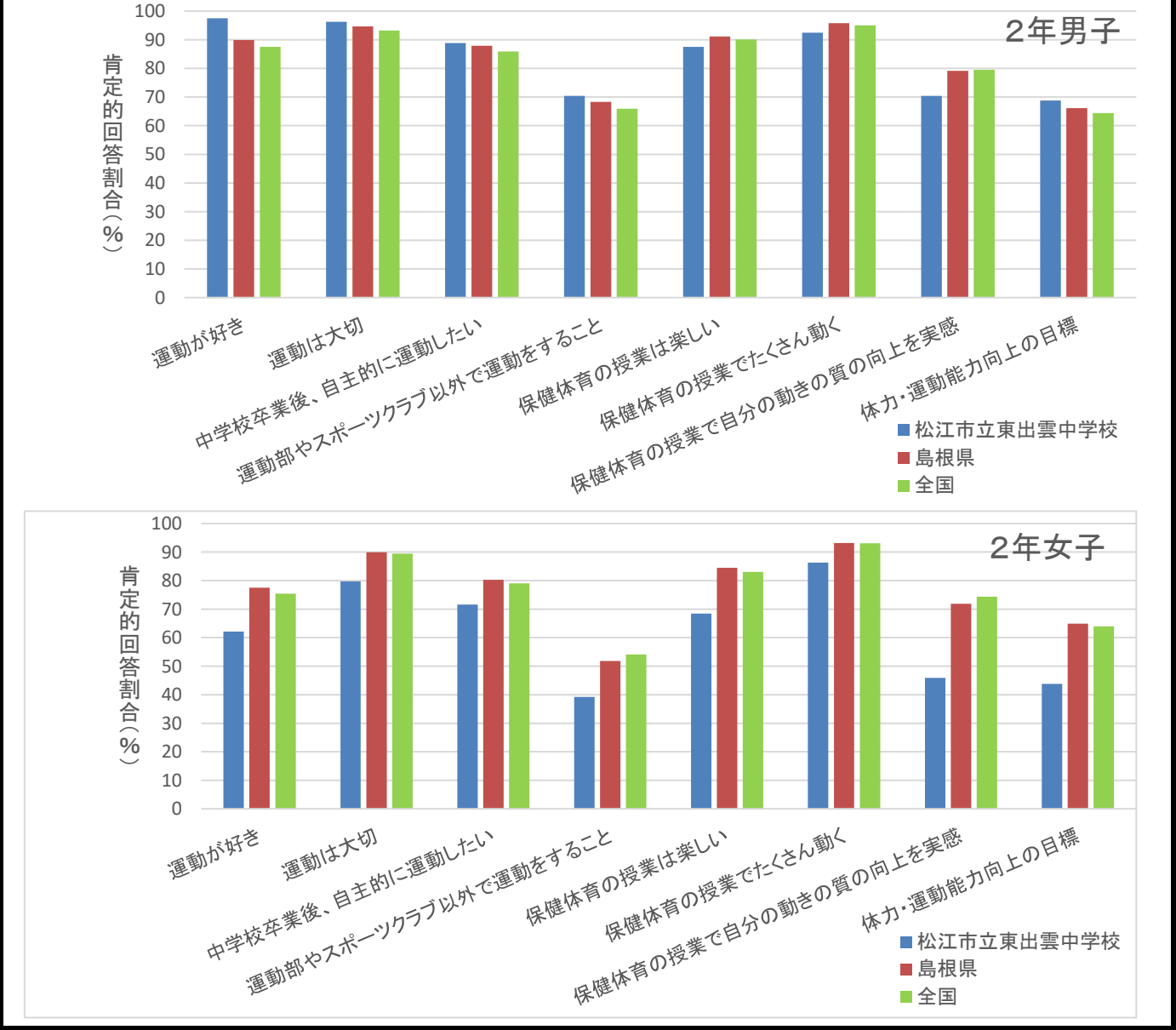


(1) 令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)

(2) 調査結果の分析



全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査＜意識調査＞の結果
(体力合計点との相関が指摘されているものや松江市教育委員会として注目しているものを挙げています)



① 体力・運動能力面

強み
○男子では「長座体前屈」「反復横跳び」が全国平均を上回っている。特に「柔軟性」が強み。 ○女子では「長座体前屈」「50m走」が全国平均とほぼ同等。特に「柔軟性」が強み。
課題
●男子では「シャトルラン」「上体起こし」が全国平均を下回り、特に「全身持久力」が課題。 ●女子では「上体起こし」「シャトルラン」において全国平均を下回り、特に「筋持久力」「シャトルラン」が課題。
次年度の対策
○体育の中で体づくり運動や、W-upの中でトレーニング等を行っているが、意欲が高まるような工夫をしたい。 ○シャトルランは強化種目として、月に1回の測定を行っているが、日々の運動量も含めて検討していきたい。 ○日常生活、家庭生活にも積極的に運動を取り入れる方法を検討、進めていきたい。

② 意識面

強み
○男子では「運動が好き」「運動は大切」「体力・運動能力向上の目標」の割合が全国平均よりも高い。 ○女子では高い項目はないが「保健体育の授業は楽しい」「保健体育の授業でたくさん動く」が全国平均に近い。
課題
●男子では「体育の授業で自分の動きの質の向上を実感」の割合が全国平均よりも低い。 ●女子では「体育の授業で自分の動きの質の向上を実感」「体力・運動能力向上の目標」の割合が全国平均よりも低い。
次年度の対策
○運動のコツやポイントを保体委員会の掲示物に盛り込むなどの見える化をしていきたい。 ○教え合いやタブレットの有効活用を多く取り入れ、自分や仲間の「動き」に関心を持たせたい。 ○授業づくりの際に、女子が積極的に取り組める導入や展開の工夫をする。

(3) 令和4年度の方針【学校全体での取組】

- ① 体力向上や体育授業に関する校内研修会等の計画について
・体育科、部活顧問者会を通して、体育、部活動、その他の場面を通して「体力向上」「運動の質の向上」を検討する。
- ② 体育科授業の工夫・改善について
・「運動量」をしっかりと確保する。
・楽しいと感じる授業の工夫、コツをつかめる授業、タブレット(パソコン)を利用した考える時間を増やす。
・単元に合わせて体づくり運動の充実を図る。
・安全を確保した上で、シャトルランを定期的に測定する。
- ③ 体育授業以外の活動の工夫について
・保体委員会コーナーを使った、「走る」「投げる」などのコツを示した掲示物の充実を図る。
・図書館と協力して、「体力向上」や各単元に応じたキャンペーンを実施する。
- ④ 家庭・地域、近隣の学校・園等との連携、情報発信について
・保健便りに体力向上のコーナーを作り、情報発信を行う。